

バリ&ロンボク・レポート

<http://www.h2.dion.ne.jp/~gilimeno/>

第36号 2013年2月発行



2月となり日本ではすぐに節分、立春とはなりますが、日本はまだまだ寒い日が続きます。

一方、インドネシア・ロンボクは熱帯の雨季真っただ中で、2月から4月にかけて雨が多く降る時期となり、日本の7月前半のように湿度が高く、非常に蒸し暑い日々が続きます。でも、以前からも何回か報告していますが、日本の梅雨とは違い、雨はスコールで、晴天時間もたくさんあります。ですので、雨季とは言いながら、ロンボク小島でのプライベートな海岸でのんびりし、泳いだり、シュノーケリングなどをしたりしながら、海辺の生き物たちを観察し、ゆったりと過ごす——。海が好きな方々には本当に最高のひとときが経験できます。



2月ごろのギリ・メノの波止場
&海上レストラン風景

ギリ・メノでのシュノーケリング時
に撮影。水深 1.5m 程度

また、今りらいぶをしている方々には時間はたくさんありますので、何もしないで海を眺めながらボートと過ごしたり、たまには読書をしたり、涼しい時間帯に海辺を散歩するなど、海でのスローライフを十分に楽しめます。

しかしながら、
毎日お酒を飲ま
ないと生きてい

けない方々には、昨年の後半から少し問題が発生しています。

インドネシア・バリではヒンドゥー教が主体で、アルコール類の取り扱いには問題ないのですが、ロンボク島はイスラム教が主体で、インドネシア政府が昨年後半から、アルコール類の取り扱いに厳しい規制を始めました。今まではマタラムのスーパーやコンビニに、ビールやワインなどを置いていたのですが、最近は見かけなくなってしまいました。

アルコール類を取り扱っているのはイスラム教徒でない華僑の酒屋などで、政府に新たな税金を納めて取り扱えているようです。よって、アルコール類を飲みたい方々は、置いてある遠い店まで買いに行かなくてはならず、結構苦労して仕入れているようです。

でも、基本的にホテルなどにはお酒類は置いてありますので、ご心配なく。また以前からイスラム色の強いパダン料理店などには、アルコール類は置いてありませんでしたので、料理を食べながらビールを一杯飲みたい方々は料理をテイクアウトして、家で料理を食べながら飲む方法でした。

そんな訳で、お酒が好きでロンボク島を訪問される方は、少し毎日の飲酒量が減って、これから少し健康になるかもしれませんね。

★マリン・スポーツが満喫できるギリ・メノ & Casablanca にぜひお越しください★

<http://www.h2.dion.ne.jp/~gilimeno/>

Casablanca のお問い合わせは、

shimaint@r4.dion.ne.jp へ



2月ごろのギリ・アイル浜辺から
ギリ・メノ&ギリ・トラワンガン
を望む。重なって見えるが、左奥
がギリ・トラワンガン



2月ごろのギリ・トラワンガン浜
辺。ミニ・バリのようで賑やか



インドネシア代表的ビールの
ンタン(星の意味)ビール